

2022年10月20日

株式会社スマートプラス(Finatext グループ)

【11/8(火)開催】東大経済学部 渡辺努教授登壇セミナー 「日米インフレ格差の要因と背景を解説」

～日本株おまかせ投資サービス『Wealth Wing』からリスク要因のなかで資産を守りながら運用する方法を解説も～

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現し、金融がもっと暮らしに寄り添う世の中を創る Finatext グループの株式会社スマートプラス(本社:東京都千代田区、代表取締役:小林 紀子、以下「当社」)の日本株おまかせ投資サービス『Wealth Wing(ウェルスウィング)』は、2022年11月8日(火)20:00よりオンライン配信にて、東京大学教授で経済学者の渡辺 努(わたなべ つとむ)教授が「日米インフレ格差の要因と背景」について解説するセミナーを開催します。

2022年10月時点、FRBによる利上げの影響で、米国や英国など多くの国の市場でインフレが起っています。一方、日本では未だインフレ率は低水準となっています。本セミナーの第一部では東京大学経済学部 渡辺教授を迎え、米国と日本、それぞれのインフレの要因を探り、背景を解説します。第二部では、当社の展開する日本株おまかせ投資サービス『Wealth Wing』運用者の福田 雄一(ふくだ ゆういち)より、リスク要因が多分にあるなかで資産を守りながら運用する方法を解説します。

株取引を行なっている方も、これから始める方も、学べるオンラインセミナーとなりますので、ぜひご参加ください。

オンラインセミナー

東大経済学部 渡辺努教授による 日米インフレ格差の 要因と背景を解説

第二部：リスク要因が山積する今、
資産を守りながら運用する方法を解説

🕒 11/8 (火) 20:00～21:30

WEALTH WING



渡辺 努

東京大学大学院
経済学研究科教授

イベント概要

■ イベントタイトル :

【第一部】日米インフレ格差の要因と背景を解説

【第二部】リスク要因が山積する今、資産を守りながら運用する方法を解説

■ 日時 : 2022年11月8日(火)20:00~21:30

■ 参加方法 : 申込フォーム(<https://forms.gle/mod9GSH4N6WLoFuZA>)からお申し込みください。

■ 視聴方法 : オンライン配信(参加申込が完了した方に視聴 URL をお送りいたします)

■ プログラム内容 :

20:00~ Wealth Wing のサービスご説明

20:10~ 【第一部】日米インフレ格差の要因と背景を解説(渡辺教授)

20:45~ 【第二部】リスク要因が山積する今、資産を守りながら運用する方法を解説(『Wealth Wing』福田)

21:10~ 質疑応答

※プログラム内容は変更となる可能性があります。予めご了承ください。

※参加者多数の場合、予告なく受付を終了する可能性があります。

登壇者 ※敬称略



渡辺 努(わたなべ つとむ)

東京大学大学院経済学研究科教授、株式会社ナウキャスト創業者・技術顧問

東京大学経済学部卒、日本銀行入行。1992年ハーバード大学Ph.D(経済学)。99年一橋大学経済研究所助教授、2002年同教授。11年東京大学大学院経済学研究科教授。19年4月~21年3月経済学部長。専門はマクロ経済学。物価と金融政策を研究テーマにしている。

福田 雄一(ふくだ ゆういち)

株式会社スマートプラス投資運用部(『Wealth Wing』運用者)

大手証券会社にて市場データ分析業務に従事後、プロップディーラーとして日本株ポートフォリオ運用を約10年間担当。クオンツアプローチによるマーケットニュートラル戦略を開発・運用。市場リスクを取らずにアルファのみを積み上げるスタイルで実績を残す。現在は当社投資運用部にて『Wealth Wing』の運用モデル開発及び運用業務全般に従事。



<モデレーター>



菅原良介(すがわら りょうすけ)

Finatext グループ アナリスト

1997年生まれ、Z世代のアナリスト。早稲田大学 政治経済学部 経済学科に在学中は「株式投資サークル Forward」の代表を務め、大学生対抗 IR プレゼンコンテストで準優勝を獲得。2年間の長期インターンを経て、2020年 Finatext に入社。現在は Finatext グループで展開される投資・証券サービスのディレクターを担当。マネープラスやマイナビなどでの執筆も行う。

日本株おまかせ投資サービス『Wealth Wing』とは

『Wealth Wing』は 2020 年に誕生したスマートフォンアプリ完結型の日本株おまかせ投資サービスです。一般的にインデックス運用をする全自動資産運用サービス(ロボアド)は、世界各国の株式、債券、不動産、金等の様々なアセットクラスの市場平均に連動する ETF(インデックス型 ETF)などで運用を行います。一方、『Wealth Wing』はノーベル賞理論などを活用して、当社のデータサイエンティストが個別株の時価総額や割安度といった複数のファクター(マルチファクター)を分析した上で最適な個別株を導き出し、東証プライム市場の日本株約 1600 銘柄から厳選した約 18 銘柄への直接投資で運用している点が特徴です。

ご利用時はご自身の景況感に合わせて、運用の方針である「戦略」を 8 パターンから選ぶだけ。資産運用をしたい個人はスマートフォンアプリから操作することで、データサイエンスに基づいたプロ並みの運用戦略で日本株を運用できます。運用開始時に株に関する膨大な知識が不要となることや、取引時間に縛られないことから、個人のライフスタイルを優先する新たな日本株投資サービスとして、ご活用いただいています。

2020 年 11 月のサービス提供開始以来、累積リターン^{※1} は最も成績の良い「戦略」において+43.91%^{※2}、全「戦略」の平均でも+36.79%を記録しています。また、米国市場の大幅下落や急激な円安、世界的なインフレなど、激動ともいえる運用環境のなか、2022 年 8 月時点の利益口座比率^{※3} は 98.6%となっています^{※4}。

公式サイト:<https://wealth-wing.com/>

※1 2020 年 11 月～2022 年 9 月 8 日における累積リターン／手数料・税金・マーケットインパクト等のコストは含まれておりません

※2 「財務健全高収益高成長ポートフォリオ」

※3 2022 年 8 月末時点で『Wealth Wing』で日本株運用を行っている全顧客口座のうち、利益が出ている口座の割合

※4 2020 年 11 月～2022 年 8 月の月次

※2022 年 8 月までの実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

Finatext グループと株式会社スマートプラス

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するフィンテック企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ノウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。



会社名 : 株式会社 Finatext ホールディングス

代表者 : 代表取締役 CEO 林 良太

証券コード : 東証グロース市場 4419

設立 : 2013 年 12 月

所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号

住友不動産九段ビル 9 階

公式サイト:<https://hd.finatext.com/>

■株式会社スマートプラス(株式会社 Finatext ホールディングス子会社)

株式会社スマートプラスは、証券ビジネスプラットフォーム「BaaS(バース): Brokerage as a Service」を軸に、事業者による自社顧客向け証券サービスの提供を支援するフィンテック企業です。次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループにおいて、証券領域における金融インフラストラクチャ事業を担っています。クレジットカードで個別株が買える日本初のサービス「セゾンポケット」開発などの事業者向けサービスのほか、自社でもスマホ投資サービス「STREAM(ストリーム)」を開発・提供しています。

代表者 : 代表取締役 小林 紀子

設立 : 2017年3月

所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目8番10号 住友不動産九段ビル9階

事業内容 : 第一種金融商品取引業・第二種金融商品取引業・投資運用業

公式サイト: <https://smartplus-sec.com/>

<重要事項>

※スマートプラスでお取引いただくこととなった際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

※株式のお取引については、株価の下落により損失を被ることがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により損失を被ることがあります。投資信託のお取引についても基準価格の下落等により損失が生じる恐れがあります。

※為替取引を伴う外国証券の取引については、前述に加えて為替相場の変動による損失を被ることがあります。

※信用取引につきましては、金利、貸株料、品貸料などの諸費用がかかるほか、株価等の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあるハイリスクハイリターン取引です。

※お客様の投資に対する適合性が信用取引に不向きな場合は信用取引を行うことはできません。

※レバレッジ型・インバース型ETFは運用にあたっての諸費用等により対象とする原指標と基準価格に差が生じる場合があり、中長期にあたってはその乖離が大きくなる可能性があるほか、複利効果により利益を得にくくなる場合があります。

※当社における各種口座開設に際しては当社所定の審査があります。

※資料等の中で個別銘柄が表示もしくは言及されている場合は、あくまで例示として掲示したものであり、当該銘柄の売買を勧誘・推奨するものではありません。

※貸株取引については分別保管の対象から外れるほか、貸し出した有価証券が返却されないリスクがあります。

※お取引に際しては当社から交付される契約締結前交付書面、目論見書その他の交付書面や契約書等をよくお読みください。

商号等: 株式会社スマートプラス

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第3031号

加入協会: 日本証券業協会・一般社団法人日本投資顧問業協会・一般社団法人第二種金融商品取引業協会